

街の歴史は、その土地の風土とともに。

私たち日本人は、四季折々に変化する自然の中で暮らしています。

時に、自然の恩恵は人々の暮らしを彩り

時に、人々は自然の脅威と向き合うことを求められ

時に、人は暮らしを守るために自然に手を加える

今、私たちが暮らす街は、こうした営みが結実したものなのです。

台風、豪雨、そして、大地震。

度重なる災害の経験は、“防災の知恵”として街中に積み重ねられてきました。

どの街にも、そこで暮らしてきた人たちの、防災の足跡が残されています。

紡がれてきた記録や記憶は、その土地で暮らす人にとって

リスクから我が身を守る心強い味方になってくれるでしょう。

さて、あなたは自分が住む土地のことをどれだけ知っているでしょうか？

土地の歴史、街の歴史、そして災害の歴史を辿ることは

あなた自身の防災を考えるための重要な一歩です。

本誌では、名古屋市16区、各区がそれぞれ独自に地域の方にお話を伺いながら

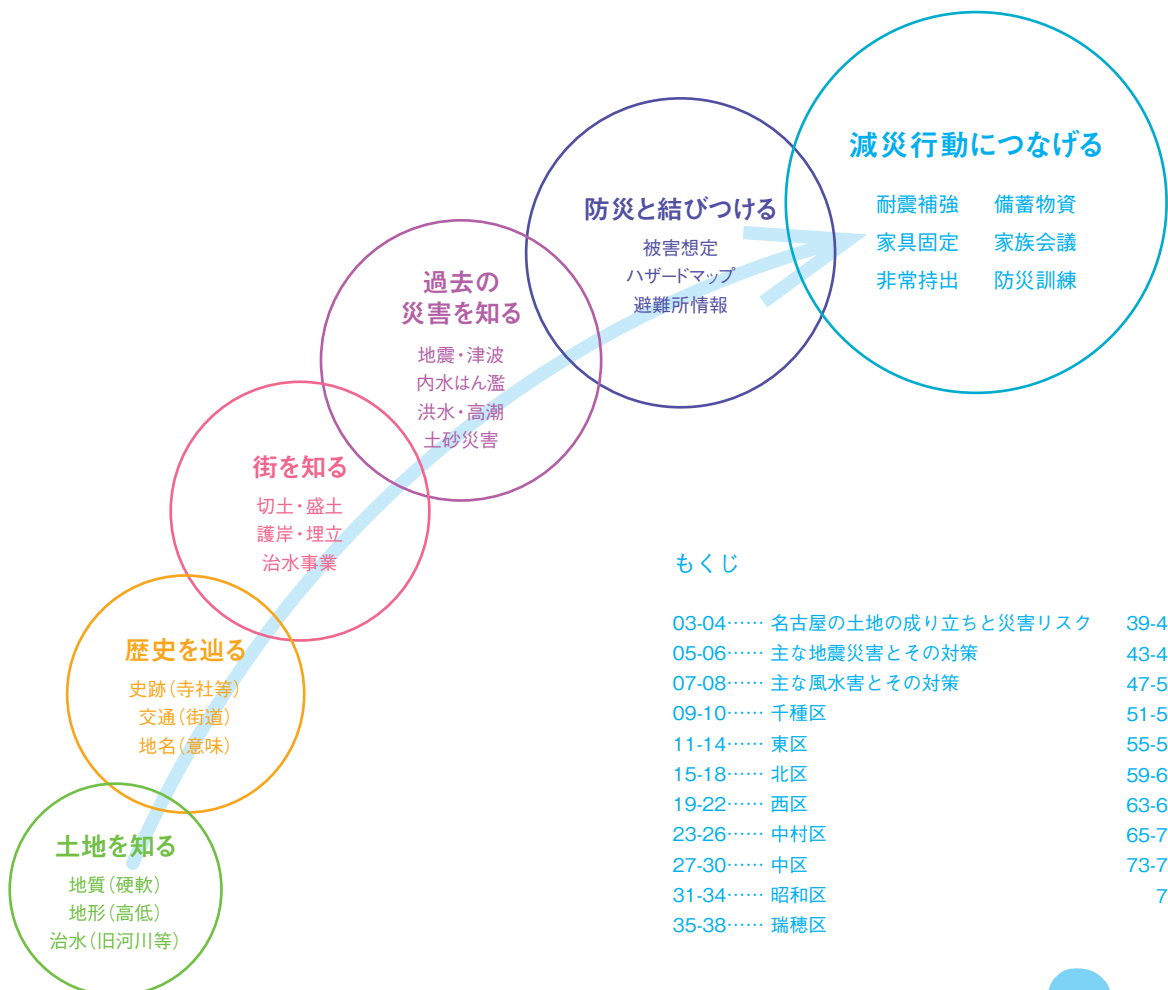
街の成り立ちや歴史についてまとめました。

区ごとに特色のある資料となっていますので、その違いに目を向けると

興味深く感じていただけたらと思います。

この一冊があなたの向き合うべきリスクを知る一助になれば幸いです。





もくじ

03-04……名古屋の土地の成り立ちと災害リスク	39-42……熱田区
05-06……主な地震災害とその対策	43-46……中川区
07-08……主な風水害とその対策	47-50……港区
09-10……千種区	51-54……南区
11-14……東区	55-58……守山区
15-18……北区	59-62……緑区
19-22……西区	63-64……名東区
23-26……中村区	65-72……天白区
27-30……中区	73-78……災害年表・用語集
31-34……昭和区	79……あとがき
35-38……瑞穂区	



各区のページは各区役所で作成した資料をそのまま掲載しています。
内容や被害等の数値には諸説あるものもあり、参考文献により異なる場合があります。